

第 1 様式

各災害共通

第 1 号様式

職 員 参 集 状 況 簿

_____（対策本部の部班名、支援本部名）

		月 日		時現在	No
No.	所属・職名	氏 名	到着時間	参集手段	備 考
1			時 分		
2			時 分		
3			時 分		
4			時 分		
5			時 分		
6			時 分		
7			時 分		
8			時 分		
9			時 分		
10			時 分		
11			時 分		
12			時 分		
13			時 分		
14			時 分		
15			時 分		
16			時 分		
17			時 分		
18			時 分		
19			時 分		
20			時 分		

（注）到着した職員から順次記入する。記入後、速やかに災害対策本部へ提出すること。

第2号様式

職員参集報告書（対策本部の各部、支援本部 → 動員班）

月 日 時現在 _____（対策本部の部班名、支援本部名）

職員等参集状況

区 分		参集人数	活動人数	待機者数	活動内容
職 員					
応 援 派 遣	県				
	他市				
	計				
ボラン ティア	一般				
	特別				
	計				

（注）職員参集状況簿等を集約し、動員班へ毎日報告する。

派遣人員依頼書
 〔避難所→支援本部→対策本部（動員班）〕
 対策本部の各部→対策本部（動員班）〕

(避難所名・部班名)

避難所・対策本部の各部 記入欄			
依頼日時	月 日 () 時 分	担当者名	
具体的な業務内容		希望人数	派遣希望期間
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
支援本部 記入欄			
受信日時	月 日 () 時 分	担当者名	
対応状況	対応可 ・ 一部対応又は対応不可 → 対策本部（動員班）に連絡		
対応詳細			
災害対策本部（動員班） 記入欄			
受信日時	月 日 () 時 分	担当者名	
対応状況	☐ ボランティア班に対応要請 ☐ その他 ()		
対応詳細			

- (注) 1 避難所では、避難所記入欄に記入し、支援本部に送付する。
 2 支援本部では、支援本部記入欄に記入し、派遣対応ができない場合は対策本部（動員班）に送付する。
 3 動員班はボランティア班等と調整し、対策本部（動員班）記入欄に記入の上、支援本部を通じて避難所に回答する。
 4 F A Xが使用できない場合は、本依頼書の控えを残し、伝令などの手段で確実に相手に手渡しする。
 5 風水害の時は、支援本部を避難部と読み替える。

災害対策実施報告書

(対策本部の各部 → 本部事務局部)

月 日 _____部

1 職員の活動内容

職員数	部職員数	人	応援職員数	人	合 計	人
活動内容	緊急対策					
	応急対策					
	復旧対策					
	「具体的な活動内容」					
	「今後の見込み」					

2 関係機関、団体の活動内容

派遣人数	人	機関・団体名	
活動内容			
			
			
			
			

応援要請報告書

※派遣人員依頼書を受け応援要請する動員班又は直接外部に応援要請した所属が記入すること。

要請先	①	
	②	
	③	
	④	
要請日時	年 月 日 時 分	

要請元(所属)	
要請する業務	
集合場所	・春日井市民会館　・その他（　　　　　　　　　）
人数・期間・ 必要な資格等	

- (注) 1 業務ごとに作成し、要請後速やかに要請のあった所属(受入担当者)へ提出する。
- 2 受入担当者が直接要請した場合は、受入担当者が作成し、動員班へ報告する。

応援職員等受入記録簿

提出日： 年 月 日

(1) 課名等

課 名		受入担当者名	
業務名			

(2) 応援職員等

団体名・所属	
所属連絡先	
活動場所	
滞在場所	

No.	応援職員情報		活動期間	
	氏名	電話(緊急時につながるもの)	始期	終期
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(注) 1 応援職員の所属別に作成すること。(応援元の作成した名簿の添付も可。)

2 作成・更新の都度、受援担当者へ提出する。

次ページ あり / なし (/)

業務の実施及び終了報告書

提出日： 年 月 日

(1) 課名等

課 名		受入担当者名	
業務名			

(2) 応援職員等

業務内容			
団体名 及び 人 数	①		人
	②		人
	③		人
	④		人
	⑤		人
	⑥		人
	⑦		人
	⑧		人
	⑨		人
	⑩		人
期 間	年 月 日() ~ 年 月 日() 終了見込		
活動場所			

(3) 終了報告

終了日	年 月 日()
-----	----------

- (注) 1 受援対象業務ごとに作成すること。
 2 作成・更新の都度、受援担当者へ提出する。(終了報告は、受援総合窓口に対し ても提出する。)

業務引継書

各災害共通

提出日： 年 月 日

(1) 作成者（前任の応援職員）

団体名	
氏 名	

(2) 確認者（受入担当者又は後任の応援職員）

団体名	
氏 名	
確認日	年 月 日 ()

(3) 引継業務内容

業務名	
業務内容	
現場状況 及び 進捗状況	
今後の予定	
配慮事項等	

- (注) 1 応援職員の交代や、受援業務の縮小に伴い、引継ぎに使用する。
 2 受援業務ごとに作成し、後任者及び受入担当者が確認し、受入担当者が保管すること。

第5号様式

避難所・支援本部開設報告

(第 報)

施設名

TEL

FAX

報告日時	月 日 時 分	受信日時	月 日 時 分
送信者		受信者	
開設日時	月 日 時 分		
避難情報の種別	高齢者等避難 指示 緊急安全確保 自主避難		
受信手段	FAX 電話 伝令 その他 ()		
避難状況	人数	約 人	
	世帯	約 世帯	
	今後の見込み	増加 減少 変化なし	
周辺等の状況	建物安全確認	未実施 安全 要注意 危険	
	人命救助	不要 必要 (約 人) 不明	
	火災等の状況	なし 延焼中 (約 か所) 大火の危険	
	土砂崩れ	なし あり (約 件) 未発見 警戒中	
	ライフライン	断水 停電 ガス停止 電話不通	
	道路状況	通行可 渋滞 片側通行 通行不可	
	建物の倒壊	なし あり (約 件) 不明	
緊急を要する事項 (具体的に記入)			
圏域内の避難所等開設状況 (支援本部のみ)	避難所	開設 か所 未開設避難所名	
	救護所	開設 か所	
参集職員の状況 (支援本部のみ)			

- (注) 1 第1報は、把握しているものだけでよい。
2 地震災害の場合は、支援本部は、圏域内の避難所を集約して報告する。
3 災害発生初期は、概ね3時間ごとに報告を行う。

第 6 号様式

避難状況・救護所開設状況

(支援本部→ 避難部、救護福祉部救護班)

(第 報)

(支援本部名)

報告日時	月 日 時 分	受信日時	月 日 時 分		
送信者		受信者			
避難状況	圏域内避難所名	避難の種別	避難世帯	避難人員	屋内屋外別
	1	指示等 自主			
	2	指示等 自主			
	3	指示等 自主			
	4	指示等 自主			
	5	指示等 自主			
	6	指示等 自主			
	7	指示等 自主			
	8	指示等 自主			
	9	指示等 自主			
	10	指示等 自主			
	11	指示等 自主			
	12	指示等 自主			
救護所	圏域内救護所	開設日時	重傷者数	軽症者数	実施機関・医師名
	1	日 時			
	2	日 時			
	3	日 時			
	4	日 時			
	5	日 時			
	6	日 時			

(注) 地震災害に使用する。

各災害共通

第7号様式 避難莫能戸斤日幸段 (避難所 → (支援本部) → 避難部)

(避難所名)

報告日時		月 日 時 分	受信日時		月 日 時 分	
送 信 者				受 信 者		
区 分		前日までの数 (a)	新規登録者数 (b)	退所者数 (c)	利用者数 (a+b-c)	
避難 所 利 用 者 数	避難所に受 け入れた者※	世帯数	世帯	世帯	世帯	
		人数	人	人	人	
	避難所以外 の場所に滞 在する者	世帯数	世帯	世帯	世帯	
		人数	人	人	人	
	合 計	世帯数	世帯	世帯	世帯	
		人数	人	人	人	
職 員 等 の 人 員	支援本部職員		人	人	人	
	派 遣 職 員		人	人	人	
	ボランティア		人	人	人	
	合 計		人	人	人	
食 料	区分		朝	昼	夜	
	食料の給与数		食	食	食	
	食料の主な内容					
運 営 状 況	グループ編成	☐ 編成済 ☐ 未編成	組数	計 ^{グループ} (避難所内 ^{グループ} + 外 ^{グループ})		
	避難所運営委員会	☐ 設置済 ☐ 未設置	役員	会長 人、副会長 人(うち女性 人)		
	運 営 班	☐ 設置済 ☐ 未設置				
連 絡 事 項	連絡元		主な対応状況		要望など	
	避難所運営委員会					
	各 運 営 班	総務班				
		連絡・広報班				
		食料・物資班				
		保健・衛生班				
		要配慮者支援班				
		施設管理班				
		屋外支援班				
		ボランティア班				
		班				
		班				
	支援本部職員					
	派遣職員					
ラ イ フ ラ イ ン	電 気	☐ 通電 ☐ 停電(: 現在)	電 話	☐ 可能 ☐ 不能(: 現在)		
	水 道	☐ 通水 ☐ 断水(: 現在)	F A X	☐ 可能 ☐ 不能(: 現在)		
	ガ ス	☐ 可能 ☐ 不能(: 現在)	周辺道路状況	☐ 通行可 ☐ 通行不可 ☐ 片側通行 ☐ 渋滞 (: 現在)		
特 記 事 項						

(注) 避難所内に受け入れた者には、車中生活者を含む。

第 8 号様式

避難所利用者登録票

(名簿 No.)

(避難所利用者→各避難所の名簿班)

滞在場所			避難所名		
きにゆうび 記入日	年 月 日 ()		きにゆうしや し め い 記入者氏名		
じゅうしょ 住 所	〒 — ちょうないかい じちかいめい 町内会・自治会名 ()	ひ なん しゅべつ 避 難 種 別	自主避難／避難情報		
		じたく ひがい 自宅の被害 じょうきよう 状 況	ぜんかい だい き ぼ はんかい ちゅうきぼ はんかい 全壊／大規模半壊／中規模半壊 はんかい じゅんはんかい いちぶそんかい 半壊／準半壊／一部損壊 ぜんしやう はんしやう ゆかうえしんすい りゅうしゅつ 全焼／半焼／床上浸水／流 出 だんすい ていでん が すていし でんわふつう 断水／停電／ガス停止／電話不通		
でんわ 電話	() —		たいざい きぼう 滞在を希望 する場所	ひなんじよ □避難所	
その他 連絡先 (親戚等)	() —			□自家用車(避難所敷地内に 駐 車) ひなんじよいがい ばしよ □避難所以外の場所 (自宅／他 ())	
ひなんじよ りようするひと 避難所を利用する人 (ひなんじよいがい ばしよ たいざい ひと きにゆう 避難所以外の場所に滞在する人も記入)			けがや病気・障がい・ アレルギーの有無、妊娠中、 使用できる言語、国籍など 、特に配慮が必要なこと		
し め い 氏名		せいねんがつび ねんれい 生年月日・年齢	せいべつ 性別	うんえい きようりよく 運営に協力 できること (特技・免許)	あんびかくにん 安否確認※ への対応
せたいぬし 世帯主	ふりがな	年 月 日 (さい 歳)			こうかい □公開 ひこうかい □非公開
かぞく 家 族	ふりがな	年 月 日 (さい 歳)			こうかい □公開 ひこうかい □非公開
	ふりがな	年 月 日 (さい 歳)			こうかい □公開 ひこうかい □非公開
	ふりがな	年 月 日 (さい 歳)			こうかい □公開 ひこうかい □非公開
	ふりがな	年 月 日 (さい 歳)			こうかい □公開 ひこうかい □非公開
べつ と じょうきよう ペットの状 況		か □飼っていない か □飼っている→右欄へ	しゅるい とうすう 種類 (頭数)	どうこうきぼう べつ とどうろくだいちょう きさい □同行希望(ペット登録台 帳に記載) じたく いく えふめい □自宅 □行方不明	
じかようしや ひなんじよ 自家用車 (避難所 ちゅうしや ばあい に 駐 車する場合)		しやしゆ 車種	いろ 色	なん ばー ナンバー	
ゆうびんはいたつぎょうむ 郵便配達業務のため住所、 せたいぬし かぞく し め い ゆうびん 世帯主・家族の氏名を郵便 きょく かいじ 局に開示してよいですか		みぎらん □よい→右欄へ □よくない	ゆうびんぶつ はいたつほうほう 郵便物の配達方法 じたく へいたつ ひなんじよ へいたつ □自宅への配達 □避難所への配達 た はいたつ ゆうびんきょく てんきよとどけ でいしゅつ □その他への配達(郵便局へ転居届を提出 してください)		
受け入れ先 (滞在先)	□避難所 (体育館／他 ()) □車両 (避難所敷地内に設営) □避難所以外の場所 (自宅／他 ())			聴き取り事項等	
退出届情報	受付日	年 月 日 ()			

(注) 1 家族ごとに記入してください。

2 ご記入いただいた情報は、食料・物資の配布や健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。また市災害対策本部にも提供し、被災者支援のために市が作成する「被災者台帳」にも利用します。

※安否の問い合わせがあった場合に、住所(〇〇町〇〇丁目)までと氏名、ふりがなを公開してもよいが個人ごとに必ず確認してください。(〇〇丁目がいない場合は〇〇町まで)

第 8 号の 2 様式

退

所

届

(避難所利用者→各避難所の名簿係)

(名簿No)

避難所名

きにゆうび 記入日 年 月 日 ()	きにゆうしやしめい 記入者氏名	
たいしょ び 退所日	年 月 日 ()	
たいしょ ひと 退所する人		
しめい 氏名	たいしょご れんらくさき 退所後の連絡先	あんびかくにん たい 安否確認に対し じゅうしょ しめい て住所、氏名を こうひょう 公表してよい ですか
せたいぬし 世帯主	ふりがな 〒 — () —	☐よい ☐よくない
かぞく 家族	ふりがな 〒 — () —	☐よい ☐よくない
	ふりがな 〒 — () —	☐よい ☐よくない
	ふりがな 〒 — () —	☐よい ☐よくない
	ふりがな 〒 — () —	☐よい ☐よくない
ゆうびんはいたつぎょうむ じゅうしょ せたいぬし かぞく しめい たいしょご れんらくさき 郵便配達業務のため住所、世帯主・家族の氏名、退所後の連絡先を ゆうびんきょく かいじ 郵便局に開示してよいですか		☐よい ☐よくない
備考		

※退所時に記載してもらい、避難所利用者登録票と合わせてファイルに閉じるなどして保管してください。
※退所後に安否の問い合わせや郵便物などがあった場合に、退所後の連絡先の住所（〇〇町〇〇丁目まで。ただし郵便局には住所のすべてと電話番号）と氏名、ふりがなを公開してもよいが個人ごとに必ず確認してください。

各災害共通

各災害共通

各災害共通

各災害共通

各災害共通

避難所利用者名簿 (公開用)

各災害共通

ひなんじょめい
避難所名

[illegible]

第9号様式

人 的 被 害 報 告 書

報告日時	月 日 時 分	受信日時	月 日 時 分
発信機関		受信機関	
発信者		受信者	

1	発生日時	月 日 時 分頃	場 所		
	発生原因				
	氏 名		生年月日		男・女
	住 所				
	被害程度	1 死亡・2 行方不明・3 重傷・4 軽傷		収容先等	
	参考事項				
2	発生日時	月 日 時 分頃	場 所		
	発生原因				
	氏 名		生年月日		男・女
	住 所				
	被害程度	1 死亡・2 行方不明・3 重傷・4 軽傷		収容先等	
	参考事項				
3	発生日時	月 日 時 分頃	場 所		
	発生原因				
	氏 名		生年月日		男・女
	住 所				
	被害程度	1 死亡・2 行方不明・3 重傷・4 軽傷		収容先等	
	参考事項				

第 10 号様式

建 物 被 害 報 告 書

年 月 日 調査 _____ (対策本部の部名、支援本部名) No _____

地 区 名		全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
	棟数					
	世帯					
	人					
	棟数					
	世帯					
	人					
	棟数					
	世帯					
	人					
	棟数					
	世帯					
	人					
	棟数					
	世帯					
	人					
合 計	棟数					
	世帯					
	人					
応急対策 の実施状 況等						

- (注) 1 地震災害の場合は、支援本部が調査を行い、災害対策本部に報告する。
 2 その他災害の場合は、技術部が調査を行い、本部事務局部に報告する。

第 11 号様式

公共施設・ライフライン等被害報告書

報告日時	月 日 時 分	受信日時	月 日 時 分
発信機関		受信機関	
発 信 者		受 信 者	

1 公共施設被害

被害区分	1 建物 2 道路 3 河川 4 貯水池 5 ため池 6 砂防等		
施設名		場 所	
発生日時	月 日 時 分頃	管理者	Tel
発生原因			
被害状況 区 間 概 要			
応急対策 の実施状 況等		復旧見込	

2 ライフライン等

被害区分	1 電信電話 2 電力 3 ガス 4 水道 5 公共交通機関		
発生日時	月 日 時 分頃	管理者	TEL
発生原因			
被害状況 地 区 区 間 概 要			
応急対策 の実施状 況等		復旧見込	

第 12 号様式

施設の被災状況チェックシート

施設名					
棟名					
調査日時	年	月	日 ()	午前・午後	時 分
調査者	所属				氏名
	所属				氏名

1 施設の周囲及び全体の確認

(1) 周囲で火災は発生していないか。	なし	・	あり
(2) 周囲の地面に亀裂はないか。	なし	・	あり
(3) 周囲や建物上部に落下しそうなもの（高架水槽等）はないか。	なし	・	あり
(4) 建物の一部が崩れたり、変形したりしていないか。	なし	・	あり
(5) 建物が傾いたり、沈んだりしていないか。	なし	・	あり
(6) 壁や柱に大きなひび割れや亀裂はないか。	なし	・	あり
(7) 出入り口の開閉できない扉が複数あるか。	なし	・	あり

すべて
「なし」1つでも
「あり」

2 施設内部の確認

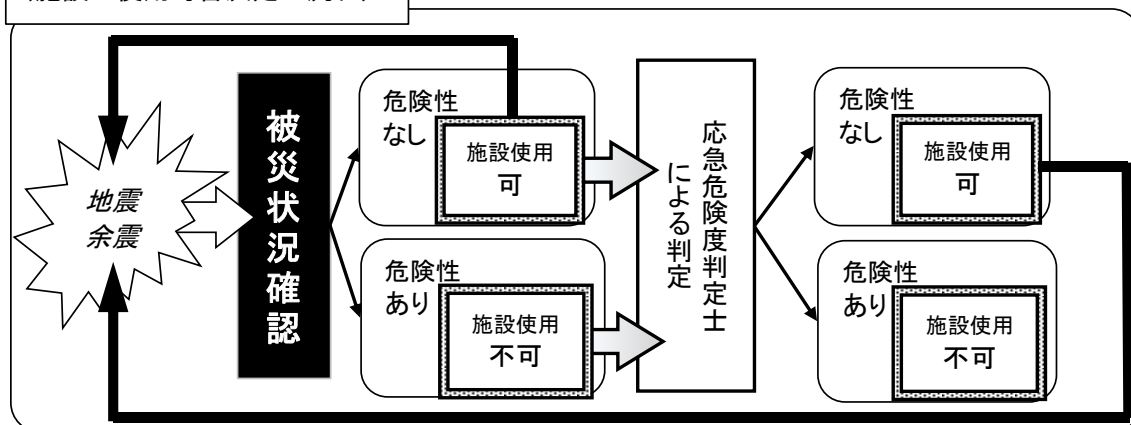
(1) 構造部材			
構造部材の柱、壁、梁、筋かい等の破損	なし	・	あり
(2) 上部（余震により落下しそうな破損はないか。）			
ア 天井	なし	・	あり
イ 照明器具	なし	・	あり
ウ 吊り下げ式バスケットゴール（体育館の場合）	なし	・	あり
エ 窓ガラスや窓枠（除却できる場合は「なし」）	なし	・	あり
(3) 側面			
ア 仕上げ材の柱・壁の大きな破損、ひび割れ	なし	・	あり
イ 開閉できない扉・窓	なし	・	あり
ウ 屋内の備品の転倒（除却できる場合は「なし」）	なし	・	あり
(4) 床面			
ア 床面の陥没又は傾斜	なし	・	あり
イ 落下物（除却できる場合は「なし」）	なし	・	あり

使用できます

すべて
「なし」1つでも
「あり」災害支援本部を通じ
て災害対策本部へ
報告してください

使用できません

〈施設の使用可否決定の流れ〉



- 「使用できません」の場合は、施設の使用を控え、災害支援本部を通じて災害対策本部へ報告してください。
- 余震が発生した場合も、その都度安全確認を行ってください。

〈危険性ありの目安〉



建物全体の破壊・傾斜・変形
壁などへの大きなひび割れ



柱へのひび割れ
〔クレジットカードが入る
程度のひび割れ〕



構造部材破断

〈注意が必要な箇所〉

構造部材
(柱・梁・筋交い等)

バスケットゴール

スピーカー類



照明器具

舞台装置類

ガラス

キャットウォーク

被害概況調査表

年 月 日 調 査 _____ (支援本部名)

No	支 援 本 部 名	サンプル数	建 物 被 害 (A×調査結果)					人的被害(被害)	
		被害倍率A	区分	全壊 B	半 壊	一部破損	被害無	死亡者 B×0.05	負傷者 B×0.25
1	味美ふれあい センター 世帯数 21,258	874	調査					死亡者	負傷者
		24.3	概数						
2	西部ふれあい センター 世帯数 20,460	511	調査					死亡者	負傷者
		40.0	概数						
3	鷹来公民館 世帯数 9,437	258	調査					死亡者	負傷者
		36.6	概数						
4	グリーンパレ ス春日井 世帯数 11,683	356	調査					死亡者	負傷者
		32.8	概数						
5	南部ふれあい センター 世帯数 12,950	331	調査					死亡者	負傷者
		39.1	概数						
6	総合福祉 センター 世帯数 22,816	708	調査					死亡者	負傷者
		32.2	概数						
7	高蔵寺ふれあ いセンター 世帯数 18,293	721	調査					死亡者	負傷者
		25.4	概数						
8	坂下公民館 世帯数 7,274	240	調査					死亡者	負傷者
		30.3	概数						
9	東部市民 センター 世帯数 18,954	834	調査					死亡者	負傷者
		22.7	概数						
被害概況合計									

(注) 1 調査は、支援本部ごとに指定された地区内の建物について行う。

2 建物の被害状況を外観目視により判定する。

3 判定にあたっては、資料 6 被害判定基準に基づき行う。

4 支援本部の世帯数は、令和 6 年 10 月 1 日現在のものである。

災害通報・処理票				No.	
受 信 者 記 入 欄	受信者	日 時	月 日 時 分		
		所属・氏名	課		
	通報者	住 所	春日井市		
		氏 名			
		連 絡 先	TEL ()		
	〔通報内容〕被災住所 (春日井市)				
	住宅地図 (年度版 ページ)				
	1 床上浸水 2 床下浸水 3 道路冠水 4 消毒液 5 河川溢水 ※土のう (個)				
本 部 指 示 事 項	指示先 (所属・氏名)		課		
	〔指示事項〕				
担 当 課 記 入 欄	所属・氏名 (2名1組)	課			
		課			
	出発時間	月 日 時 分			
	完了時間	月 日 時 分			
	帰庁時間	月 日 時 分			
	〔処理内容〕				
備 考					

※市民からの住居等に関する通報は、罹災証明書の交付に必要となるので注意すること。

防災拠点受付簿

		No.	
受信者記入欄	対応者	日 時	月 日 時 分
		所属・氏名	課
	来庁者	住 所	春日井市
		氏 名	
		連絡先	TEL ()
	〔相談内容〕		
	☐ 避難情報（安否確認・避難所）		
	☐ 救助関係（下敷き、交通事故、火傷、その他）		
	☐ 物資関係（供給依頼・供給情報・その他）		
☐ 被害情報（交通状況・建物倒壊・ライフライン・その他）			
☐ その他			
現場対応	対応者（所属・氏名）		課
	〔回答事項〕 ☐ 本部転送		
本部回答	受信者（所属・氏名）		課
	受付者への報告 ☐ 完了		
備考			

※市民からの住居等に関する通報は、罹災証明書の交付に必要となるので注意すること。

人的被害・住家等被害調査票
(被 災 者 台 帳)

調査日時	年 月 日
調査員	

被災者	住 所	春日井市 (電話)			
	世帯主氏名	(家族員 人)			
災 害 原因等	種 別	1 台風 (号) 2 集中豪雨 3 地震 4 その他 ()			
	発 生 日 時	年 月 日 時頃			
	場 所	春日井市			
人 的 被 害	氏 名	性別	生年月日	被害の程度	
			年 月 日	死亡 行方不明 重傷 軽傷	
			年 月 日	死亡 行方不明 重傷 軽傷	
			年 月 日	死亡 行方不明 重傷 軽傷	
			年 月 日	死亡 行方不明 重傷 軽傷	
住 家 被 害	住家の別	1 住家 2 非住家			
	建物の構造	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋 4 その他 () 階建			
	被害の程度	1 全壊 2 大規模半壊 3 中規模半壊 4 半壊 5 準半壊 6 準半壊に至らない (一部破損) 7 床上浸水 8 床下浸水			
	特記事項				
その他 被 害	特記事項				

証明書交付日	年 月 日
--------	-------

風水害等災害

第 15 号の 2 様式

被害状況調査票				調査番号		班番号	
調査区分	聞き取り	被災者 隣 人 () その他 ()			調査日	年 月 日	
					調査時間	午前 午後 時 分	
	不 在 目 視				調査員名		
住 所	町 丁目 番地 台・通						
方 書					Tel	—	
氏名						世帯員数	
名称	法人 又は 屋号	代表者又は担当者				従業員数	
	業 種	製造業 卸売業 小売業 建設業 サービス業 その他 ()					
被害内容 (聞き取り内容)	建 物	一般住宅 工 場 事務所 店舗付住宅 店 舗 その他 賃貸住宅 (貸主)					
		住宅の場合の構造	木造 非木造				
	資 産 等	家 財 車 両 機械設備 商 品 原材料 その他					
被害状況	浸水状況	浸水水位 (c m) 床上浸水 床下浸水 (状況)					
		(状況)					
	家屋全壊 家屋半壊 そ の 他	(状況)					
(要望等)				食糧 人分 毛布 枚 消毒薬 本 汲み取り 要 否			
* 住宅地図を添付すること。現場 写真を撮影する場合には、所有 者の許可を得ること。				課 長	課長補佐	主 査	担 当
				調査員			

第 16 号様式

食料依頼伝票

〔避難所→支援本部→対策本部（物資供給部）
対策本部（動員班）→対策本部（物資供給部）〕

（避難所名）

避難所・動員班 記入欄			災害対策本部（物資供給部） 記入欄	
依頼日時	年 月 日 () 時 分		受付日時	年 月 日 () 時 分
担当者名			担当者名	
避難所名	住所		発注業者	住所
	TEL		FAX	TEL
			伝票番号	(伝票枚数)
区分	必要数	備考	出荷数量	備考
通常の食事	食		食	
やわらかい食事	食		食	
食物アレルギー 対応など特別な 配慮が必要な食 事(詳細は備考に記 入)	食		食	
その他連絡事項				

- (注) 1 避難所では、避難所記入欄に記入し、支援本部を通じて災害対策本部に送付する。
 2 動員班は、災害対策本部員の必要数を確認し、物資供給部へ要請する。
 3 物資供給部は災害対策本部（物資供給部）記入欄に記入し、支援本部を通じて避難所に回答する。
 4 F A X が使用できない場合は、本伝票の控えを残し、伝令などの手段で確実に相手に手渡しする。
 5 避難所で食料を受領したら、避難所受領サイン欄に押印またはサインをする。また、「物資受入簿」「物資ごとの受入・配布等管理簿」にも記入する。
 6 風水害の時は、支援本部を避難部と読み替える。

配送担当者等記入欄			避難所受領サイン
出荷日時	年 月 日 ()	時 分	
配達者	TEL FAX		
配達日時	年 月 日 ()	時 分	

第 16 号の 2 様式

物資依頼伝票

〔避難所→支援本部→対策本部（物資供給部）
対策本部の各部→対策本部（物資供給部）〕

（避難所名・部班名）

避難所・部班名 記入欄			災害対策本部（物資供給部） 記入欄		
依頼日時	年 月 日 () 時 分		受付日時	年 月 日 () 時 分	
担当者名			担当者名		
避難所名	住所 TEL FAX		発注業者	住所 TEL FAX	
			伝票番号	(伝票枚数)	
品名	品質・規格	数量	出荷数量	個口	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
			個口合計		

- (注) 1 一行につき一品、サイズごとに記入する。
 2 避難所では、避難所記入欄に記入し、支援本部を通じて災害対策本部に送付する。
 3 物資供給部は災害対策本部（物資供給部）記入欄に記入し、支援本部を通じて避難所に回答する。
 4 F A X が使用できない場合は、本伝票の控えを残し、伝令などの手段で確実に相手に手渡しする。
 5 避難所で物資を受領したら、避難所受領サイン欄に押印またはサインをする。また、「物資受入簿」「物資ごとの受入・配布等管理簿」にも記入する。
 6 風水害の時は、支援本部を避難部と読み替える。

配送担当者等記入欄			避難所受領サイン
出荷日時	年 月 日 () 時 分		
配達者	TEL FAX		
配達日時	年 月 日 () 時 分		

第 18 号様式

救 護 者 受 付 簿

_____ (支援本部名・避難所名) No

月 日	救 護 者	傷病名・程度	処 置 状 況
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先
	住所		
	氏名 (歳)		搬送先

_____ 救護所

医師名

担当者

(注) 応急医療を実施した場合には、随時、救護福祉部救護班へ報告すること。

第 19 号様式

診 療 日 誌

月 日 () (支援本部名・避難所名)

医 療 班			看護師等 氏 名	
医 師 名				
診療記録	救護者の診療	診療人数 重傷 人、軽傷 人、病院等への搬送 人		
	巡 回 医 療	診療人数等		
	死体の 検 案	検案数等		
医薬品等 使用状況				
			担当者	

月 日 () (支援本部名・避難所名)

医 療 班			看護師等 氏 名	
医 師 名				
診療記録	救護者の診療	診療人数 重傷 人、軽傷 人、病院等への搬送 人		
	巡 回 医 療	診療人数等		
	死体の 検 案	検案数等		
医薬品等 使用状況				
			担当者	

- (注) 1 医科、歯科それぞれに作成する。
 2 医薬品等使用状況欄に記入できないときは、別紙を添付する。
 3 応急医療等を実施した場合には、随時、救護福祉部救護班へ報告すること。

遺 体 台 帳

年 月 日 ()					遺体番号				
搜索収容者		所 属		氏 名					
遺体の種別		1 身元不明の遺体 2 引受人のない遺体 3 その他							
発見日時		年 月 日 時 分 頃			発見場所				
遺 体 の 身 元	本 籍								
	現住所								
	氏 名		性別		生年月日	(歳)			
	「識別事項」 着衣 所持品 身長 体重等								
遺 族 等 の 関 係 者	現 住 所	(電話)							
	氏 名	(遺体との続柄)							
	遺体の引受	可 ・ 不可 引渡し 年 月 日							
	遺骨の引取	可 ・ 不可 引渡し 年 月 日							
検 視 日 時		月 日 時 分			検視者				
検 案 日 時		月 日 時 分			検案医師				
死 亡 原 因		「遺体発見場所の略図」							
火葬許可証交付							年 月 日		
火 葬 日							年 月 日		
火 葬 の 場 所									
所持品の処理									
備 考									

(注) 写真は裏面にはりつける。

遺体搜索状況記録簿

[illegible]

- (注) 1 この様式は、行方不明者の搜索活動(建設協会等に委託)を行う場合に使用する。
2 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入する。
3 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上額を金額欄に記入する。
4 修繕の概要欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入する。

遺体処置・埋葬記録簿

No	遺 体		処置・埋（火）葬費用			
	氏 名	(歳)	洗浄等 の 処置費	品名		安置場・安置期間
	住 所			数量		
	発見日			金額	円	埋葬を行った者・続柄
	死亡日		一次保存料	円		
	場 所		検案料	円	埋葬日	
	死 因		埋葬費	棺	円	備考
	遺 族 氏 名			埋葬 火葬	円	
	続 柄			骨箱	円	合計費用 円
	氏 名	(歳)	洗浄等 の 処置費	品名		安置場・安置期間
	住 所			数量		
	発見日			金額	円	埋葬を行った者・続柄
	死亡日		一次保存料	円		
	場 所		検案料	円	埋葬日	
	死 因		埋葬費	棺	円	備考
	遺 族 氏 名			埋葬 火葬	円	
	続 柄			骨箱	円	合計費用 円
	氏 名	(歳)	洗浄等 の 処置費	品名		安置場・安置期間
	住 所			数量		
	発見日			金額	円	埋葬を行った者・続柄
	死亡日		一次保存料	円		
	場 所		検案料	円	埋葬日	
	死 因		埋葬費	棺	円	備考
	遺 族 氏 名			埋葬 火葬	円	
	続 柄			骨箱	円	合計費用 円

- (注) 1 市長が埋（火）葬を行った場合は、その旨を記入する。
 2 市長が棺、骨箱等を現物給与した場合は、その旨を備考欄に記入する。
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、金額を備考欄に記入する。

[illegible]

- 34

住宅応急修理記録簿

NO.

No	世 帯 主			応 急 修 理		
	氏名				着 工	年 月 日
	住所				完 了	年 月 日
	職業		家族数	人	修理費	円
	修理概要					
	氏名				着 工	年 月 日
	住所				完 了	年 月 日
	職業		家族数	人	修理費	円
	修理概要					
	氏名				着 工	年 月 日
	住所				完 了	年 月 日
	職業		家族数	人	修理費	円
	修理概要					
	氏名				着 工	年 月 日
	住所				完 了	年 月 日
	職業		家族数	人	修理費	円
	修理概要					

障害物除去状況記録簿

No	世 帯 主			除 去	
	氏名			期 間	年 月 日～ 年 月 日
	住所			費 用	円
	職業		家族数	人	「除去を要すべき状態の概要」
	「住家被害程度区分」				
	氏名			期 間	年 月 日～ 年 月 日
	住所			費 用	円
	職業		家族数	人	「除去を要すべき状態の概要」
	「住家被害程度区分」				
	氏名			期 間	年 月 日～ 年 月 日
	住所			費 用	円
	職業		家族数	人	「除去を要すべき状態の概要」
	「住家被害程度区分」				
	氏名			期 間	年 月 日～ 年 月 日
	住所			費 用	円
	職業		家族数	人	「除去を要すべき状態の概要」
	「住家被害程度区分」				

義援金受付台帳 救援物資受付台帳

_____ (災対本部の部名・支援本部名) N o

No.	受入日時		支援の内容	金 額 (数 量)	支 援 者	備 考
	月 日	時 間				
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	
	／	:			団体名 代表者名 住所 TEL FAX	

- (注) 1 義援金、救援物資ごとに作成する。
2 備考欄は、処理状況を記入する。

義援金領収書	No. _____
金 額 ￥ _____	
上記の金額を義援金として領収いたしました。	
年 月 日	
_____様	
春日井市会計管理者	
(部・支援本部)	

救援物資受領書	No. _____
物品名 _____ 数量 _____	
上記の物品を救援物資として受領いたしました。	
年 月 日	
_____様	
春日井市災害対策本部長	
春日井市長	
(部・支援本部)	

ボランティア受付簿

(受付 月 日)

(災対本部の部名・支援本部名・避難所名)

NO	氏 名 等	性別	職 業	活 動 可 能 期 間	
		年齢	技 能	ボランティア経験の有無	
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無
	氏名 住所 電話	男・女		月 日から 月 日	
		歳		有 ()	無

ボランティアの皆様へ（ボランティア活動時の注意事項）

このたびは、ボランティア活動にご参加いただきありがとうございます。
皆様に、安全で気持ち良く活動していただくため、以下をよくご確認ください。
ようお願いします。

1 市災害ボランティアセンターでボランティア登録はお済みですか？

また、ボランティア保険（※）への加入はお済みですか？

ボランティア活動時には、必ず保険への加入をお願いします。未加入の方は、市災害ボランティアセンターへお問い合わせください。

※全国社会福祉協議会の福祉ボランティア保険（災害時特約付き）など

2 活動の際は、ボランティア証など身分のわかる物を身に付けて下さい。

3 グループで活動する場合は、はじめにリーダーを選出してください。

リーダーとなった方は、仕事の進捗状況や完了時の報告をお願いします。

4 体調管理には十分ご注意ください。

体調の変化や健康管理などは、皆さん各自でご注意ください、決して無理をしないようにしてください。

5 被災された方の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーを守った行動や発言・言葉使いなどに心がけてください。

6 食事や宿泊場所は提供できません。

7 活動時の服装や持参品など（災害の種類や季節などにより適宜変更してください）

- （1）動きやすい服装、帽子、ジャンパー、底の厚い靴、皮手袋、防塵マスク等
- （2）懐中電灯、雨具（カッパ）、携帯ラジオ
- （3）飲料水、弁当、ゴミ持ち帰り用袋
- （4）タオル、救急用品（傷薬、痛み止め、ガーゼ、救急ばんそうこう等）、筆記用具、保険証のコピー、ティッシュ、小銭、地図、メモ帳

8 その他疑問点などがあれば、市災害ボランティアセンターなどにご相談ください。

ボランティアの皆様には危険な活動をお願いすることはありませんが、万一、活動内容に疑問を感じるがありましたら、作業を始める前に、市災害ボランティアセンターなどにご相談ください。

市災害ボランティアセンター	電話（ ）	—
---------------	------------------	---

災害派遣要請依頼書

年 月 日

愛知県知事

様

春日井市長

部隊等の派遣要請依頼書

災害を防除するため、下記のとおり自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1 災害の情况及び派遣要請を依頼する事由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣要請を依頼する理由

2 派遣を希望する期間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(1) 区域

(2) 活動内容（遭難者の搜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）

4 その他参考となるべき事項

その他細部については、 において調整する。

- (注) 1 県知事に対し、災害対策基本法に基づく災害派遣要請を行うこと。
2 事態が急を要し、県知事に対して派遣要請できないときは、直接自衛隊に対し、被害状況を通知し、事後、速やかに所定の手続きをとること。
3 2項に関しては、具体的に表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現を記入する。

災害派遣撤収要請依頼書

年 月 日

愛知県知事

様

春日井市長

災害派遣部隊撤収要請依頼書

自衛隊の災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、 月 日
をもって派遣部隊等を撤収要請されるよう依頼します。

※自衛隊の救援活動が終了したときは、速やかに県知事に対し、撤収要請を行うこと。

1 災害発生等広報

文 例 (1)

こちらは春日井市災害対策本部です。
ただいま大きな地震がありました。
まず、火の元の始末をしてください。
ガスの元栓を閉めてください。
電気のブレーカを切ってください。
電気器具のスイッチを切ってください。
マッチ、ライター、ろうそくはしばらくの間使わないでください。
ガス漏れの場合に引火して、火災が発生するおそれがあります。
車に乗っている方は、
車を左側によせてエンジンを切ってください。
道路の中央は、消防車や救急車が通れるように、必ずあけてください。
携帯ラジオ、カーラジオをつけて正確な情報を待ってください。

文 例 (2)

こちらは春日井市災害対策本部です。
愛知県地方の地震はおさまりました。
落ち着いてまわりを確認してください。
地震で一番こわいのは火事です。消し忘れの火はありませんか。
ガラスの破片などでけがをしないため、靴を履いてください。
ガスの臭いがしたら、メーター部分の元栓を閉め、家から外へ出てください。
屋外にいる人は、
まわりに何もない所へとどまり、様子を見てください。
壊れたビル、建物からのガラスなどの落下に気をつけてください。
高圧線、ブロック塀から離れてください。
電話は、重大な緊急連絡以外は使わないでください。
携帯ラジオ、カーラジオをつけて正確な情報を待ってください。

文 例 (3)

こちらは春日井市災害対策本部です。
さきほどの地震は震度〇、震源地は〇〇と発表されました。
春日井市の震度は〇です。
余震はまだ続っていますが、本震ほど強くはありません。
自宅にいる人は、
水をできるだけ確保してください。
風呂桶やポリタンク、ビンなどに水をためてください。
トイレの水は流さないでください。
隣近所にお年寄りや障がいのある方、子どもさんだけの家はありませんか。
身の回りが落ち着いたら、声をかけてください。
出所のわからない情報、デマには耳を貸さないようにしてください。
被害状況は、分かり次第、順次広報します。

2 避難、避難所開設広報

文 例 (1)

緊急広報、緊急広報、こちらは春日井市災害対策本部です。

緊急避難の準備をしてください。緊急避難の準備をしてください。

〇〇地区の火災が、〇方向へ燃え広がり、延焼の危険があります。

お年寄りや子どもさんなどは、早めに避難させてください。

避難場所は、〇〇小学校か〇〇町の〇〇です。

- ※1 { その他の人も、火の元の確認をし、いつでも避難できる準備をしてください。
避難のときの荷物は、最小限の非常用持ち出し品にとどめ、背負うようにして、両手はあけるようにしてください。

文 例 (2)

緊急広報、緊急広報、こちらは春日井市災害対策本部です。

避難指示がでました。避難指示がでました。

〇〇地区の火災が〇方向へ燃え広がっています。

〇〇地域の住民の方は、直ちに〇〇へ（〇方向へ）避難してください。

- ※2 { 避難にあたっては、現場にいる警察官、消防職員、市職員の指示に従って落ち着いて行動してください。
隣近所にお年寄りや障がいのある方、子どもさんだけの家があるときは、近の方は避難の手助けをしてください。
隣近所の方が声をかけあって、できるだけ集団で避難してください。
車での避難は極力避けてください。

文 例 (3)

こちらは春日井市災害対策本部です。

この地区の避難所を〇〇小学校に開設しました。

（お年寄りや障がいのある方など、要配慮者の避難所を〇〇町の〇〇に開設しました。）

避難にあたっては、

隣近所の方が声をかけあって、できるだけ集団で避難してください。

お年寄りや障がいのある方、子どもさんは皆さんで助け合って避難してください。

車での避難は極力避けてください。

自主防災会、消防団の方は、避難者を誘導してください。

避難するときは、

火の元を再度確認してください。

壊れた建物や狭い路地では、屋根瓦やブロック塀、たれ下がった電線に注意してください。

文 例 (4)

こちらは春日井市災害対策本部です。

この地区の救護所を〇〇に開設しました。

自分たちで応急処置のできない負傷者は、救護所へ搬送してください。

市民の皆さん、負傷した人を協力して救護所まで搬送してください。

看護師、保健師の資格のある方は、救護所での医療活動に協力をお願いします。

救護担架は、自主防災会の器具庫にあります。

3 被害等広報

文 例 (1)

こちらは春日井市災害対策本部です。
先程の地震による、被害状況をお知らせします。
市内では、〇〇地区で大きな被害があり、〇〇地区にも被害がありました。
亡くなった人は、〇〇地区で〇人、負傷した人は〇〇地区で〇人です。
建物の被害は、全壊〇棟、半壊〇棟と報告されています。
出所のわからない情報、デマには耳を貸さないようにしてください。
携帯ラジオ、カーラジオをつけて正確な情報を待ってください。

文 例 (2)

こちらは春日井市災害対策本部です。
現在地震のため、
市内の電気、ガス、水道は供給を停止しています。
電話もかかりにくくなっています。
復旧は、長期間かかることが予想されますので、当分の間は自分たちで生活できるように準備をしておいてください。
給水、食料等は、〇〇避難所及び〇〇で配付できるよう、準備をすすめています。
詳しい情報は、その都度お知らせをいたします。

文 例 (3)

こちらは春日井市災害対策本部です。
この地域の災害支援本部を〇〇に設置しています。
支援本部では、被害情報、復旧情報のほか安否情報、避難所、救護所の情報など各種情報の提供を行っています。

文 例 (4)

こちらは春日井市災害対策本部です。
現在の道路情報・交通情報をお知らせいたします。
愛知県内では、現在地震のため、高速道路を始め主な幹線道路は全て通行禁止となっています。
市内の道路は、国道〇号線、県道〇〇線が通行禁止となっています。
車で移動はしないでください。消防車、救急車などの緊急車両の活動のさまたげとなります。
車両を運転中の方は、カーラジオの情報や警察官の指示に従ってください。

文 例 (5)

こちらは春日井市災害対策本部です。
公共交通機関の運行状況についてお知らせします。
現在、名古屋圏のＪＲ、私鉄、地下鉄、バスは、地震のため全て運行を中止しています。
各交通機関では、路線など運転施設の点検を行っていますが、まだ運転再開の見通しはたっていません。
今後の見通し、運行の再開については、テレビ、ラジオなどの情報に注意してください。

4 配給、復旧情報等の広報

文 例 (1)

こちらは春日井市災害対策本部です。

現在、

水道は、地震のため市内全域（〇〇町一帯、〇〇地区）が断水しています。

対策本部は、飲料水の配布を〇〇公園（〇〇避難所、〇〇支援本部）で〇時から行います。

ポリタンクなどを持参して給水を受けてください。

なお、水の使用に関して、市民の皆さんに協力を要請します。

飲料水は、大切に使って下さい。

汲み置きした水、井戸水は、必ず沸かしてから飲んでください。

蛇口から濁った水が出る場合は、バケツ等に汲み置きし、うわ水を沸かして利用してください。

現在、

電気、ガスは、地震のため市内全域（〇〇町一帯、〇〇地区）が供給中止となっています。

対策本部は、食料の配布を〇〇公園（〇〇避難所、〇〇支援本部）で〇時から行いますので、必要な方はおいでください。

現在、

電気、ガスは、地震のため市内全域（〇〇町一帯、〇〇地区）が供給中止となっています。

食料の配布を、自主防災会、町内会などを通じて行っていますので、受け取ってください。

現在、

電話は、地震のため市内全域（〇〇町一帯、〇〇地区）が不通となっています。臨時仮設電話が〇〇避難所、〇〇支援本部に設置されていますのでご利用ください。

現在、

国道（県道）〇号線（〇〇線）は、地震による道路被害（冠水、〇〇橋の落下）のため、通行禁止となっています。

国道（県道）〇号線（〇〇線）は、緊急輸送道路のため、一般車両は通行禁止となっています。

迂回路は、〇〇線が通行可能となっています。

運転者の皆さんは、交通標識や現場の警察官の指示に従ってください。

文 例 (2)

こちらは春日井市災害対策本部です。

電気（ガス、水道）の復旧状況について、お知らせします。

〇〇町一帯（〇〇地区）の電気（ガス、水道）は、〇日頃に復旧する見込みです。

ガスの供給再開については、東邦ガスが一軒ごとに安全を確認してから行いますので、それまでは使用（開栓）しないでください。

電話の復旧状況について、お知らせします。

〇〇町一帯（〇〇地区）の電話は、〇日頃に復旧する見込みです。

電話の不通地域については、〇〇避難所、〇〇支援本部に臨時仮設電話が設置されていますので、ご利用ください。

文 例 (3)

こちらは春日井市災害対策本部です。

公共交通機関の運行状況についてお知らせします。

現在、ＪＲ中央線（〇〇線）は、一部で運転が再開されています。

運転再開区間は、〇〇駅から〇〇駅の間です。

運行本数が少ないため、各駅では混雑が予想されます。

今後の運行状況は、テレビ、ラジオなどの情報に注意してください。

道路の復旧状況についてお知らせします。

国道（県道）〇号線（〇〇線）は、〇日から交通規制が解除（通行が可能）されます。

当分の間は、災害対策車両の通行を優先しますので、渋滞が予想されます。

文 例 (4)

こちらは春日井市災害対策本部です。

学校等の授業再開についてお知らせします。

〇〇小学校（中学校、保育園）は、〇日から授業（保育）を再開します。

教科書などの学用品を災害でなくした人は、学校で配付いたしますので、先生に申し出てください。

給食は、当分の間ありません（〇日から実施します）。

文 例 (5)

こちらは春日井市災害対策本部です。

ごみ（し尿）の収集についてお知らせします。

災害による廃棄物、倒壊家屋などの集積場を〇〇公園に設置しました。

燃やせるごみ、燃やせないごみ、危険物に分別して排出してください。

大量に排出される場合は、許可証が必要となりますので、対策本部、支援本部で問い合わせてください。

災害に伴うこの地区の、臨時ごみ収集を〇日に行います。

ごみは決められた集積場へ、燃やせるごみ、燃やせないごみ、危険物に分別して出してください。

なお、自分で運搬できる方は、燃やせるごみはクリーンセンターへ、燃やせないごみは不燃物処分場まで運んでください。災害によるごみであることを申し出ていただければ無料で処理いたします。

1 避難指示等の広報

<洪水時>

こちらは春日井市災害対策本部です。

本日、 時 分に、

【警戒レベル3】高齢者等避難

【警戒レベル4】避難指示

【警戒レベル5】緊急安全確保

} を発令しました。

《台風 号による大雨で・現在降り続けている大雨で》

〇〇川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

(高齢者等避難の場合)

今後の気象情報に注意いただき、心配な場合や危険だと思う場合は、迷わず避難所へ避難してください。お年寄りの方など、避難に時間がかかる方は、避難所へ避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところへ避難してください。

(避難指示の場合)

すぐに避難所へ避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところへ避難してください。

※状況に応じ、避難路の指示、誘導、戸締り、火の元点検、危険箇所のお知らせを行う。

(緊急安全確保の場合)

まだ避難していない方は、すぐに安全な場所へ避難してください。外が危険な場合は、すぐに屋内の高いところへ避難してください。

<土砂災害発生時>

こちらは春日井市災害対策本部です。

本日、 時 分に、

【警戒レベル3】高齢者等避難

【警戒レベル4】避難指示

【警戒レベル5】緊急安全確保

} を発令しました。

春日井市に土砂災害警戒情報が発表され、土砂災害の危険性が高くなりました。

※網掛け部分は発表された時のみ

(高齢者等避難の場合)

今後の気象情報に注意いただき、心配な場合や危険だと思う場合は、迷わず避難所へ避難してください。お年寄りの方など、避難に時間がかかる方は、避難所へ避難してください。外が危険な場合は、屋内の山から離れた高いところへ避難してください。

(避難指示の場合)

すぐに避難所へ避難してください。外が危険な場合は、屋内の山から離れた高いところへ避難してください。

(緊急安全確保の場合)

まだ避難していない方は、すぐに安全な場所へ避難してください。外が危険な場合は、すぐに屋内の山から離れた高いところへ避難してください。

文 例 (1)

こちらは春日井市災害対策本部です。
〇〇時〇〇分現在の被害状況をお知らせします。
(河川、道路、電気、ガス、水道、電話等の様子を伝える)

3 配給、復旧情報等の広報

文 例 (1)

こちらは春日井市災害対策本部です。
〇〇時〇〇分現在の供給状況をお知らせします。
(避難所での薬剤、毛布、食糧等供給状況を伝える)

文 例 (2)

こちらは春日井市災害対策本部です。
〇〇時〇〇分現在の復旧状況をお知らせします。
(ごみ収集状況、河川、道路、電気、ガス、水道、電話等の復旧状況を伝える)

第 34 号様式

大雨に関する報告について
(年 月 日 午前・午後 時 分現在)

1 気象情報の発令状況

2 降雨の状況 (年 月 日 午前・午後 時 分～午前・午後 時 分)

区 分	総雨量	最大時間雨量 (時間)
市 役 所	mm	mm (: ~ :)
春日井消防署	mm	mm (: ~ :)
消防署東出張所	mm	mm (: ~ :)
消防署西出張所	mm	mm (: ~ :)
消防署南出張所	mm	mm (: ~ :)
消防署北出張所	mm	mm (: ~ :)
消防署高蔵寺出張所	mm	mm (: ~ :)

3 被害の状況

(1) 建物等被害

建 物	全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟
	床上浸水 棟	床下浸水 棟	
農 地	稲の倒伏 アール、	土砂流入農地 アール	
た め 池	堤体決壊 箇所、	土砂流入 箇所	
用 水 路	堤体決壊 箇所、	土砂流入 箇所	
そ の 他			
公共施設	被 害 等 の 状 況		
道 路			
地下道	箇所中	箇所冠水	
河川堤防			
建物・施設等			

(2) 人的被害

被害程度	1 死亡	人	2 行方不明	人	3 重傷	人	4 軽傷	人
------	------	---	--------	---	------	---	------	---

4 災害対応

(1) 市職員の出勤状況

日 時	出 勤 状 況
年 月 日 午前・午後 時 分	
年 月 日 午前・午後 時 分	
年 月 日 午前・午後 時 分	
年 月 日 午前・午後 時 分	
年 月 日 午前・午後 時 分	

(2) 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保

日 時	対象地区	世帯数	開設した避難場所
年 月 日 午前・午後 時 分 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保			
年 月 日 午前・午後 時 分 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保			
年 月 日 午前・午後 時 分 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保			
年 月 日 午前・午後 時 分 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保			
年 月 日 午前・午後 時 分 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保			
合 計	地区	世帯	

(3) 避難の状況

(4) 要配慮者への対応

(5) 自衛隊への派遣要請

地区・区域	要 請 内 容 等

(6) 春日井建設協会への出動要請

年 月 日 午前・午後 時 分

(7) 交通機関等の状況

交通機関等	被 害 等 の 状 況
J R 東 海	
名鉄（電車）	
中日本高速道路	
中 部 電 力	
東 邦 ガ ス	
N T T	

(8) 災害援助物資

乾パン 食、 アルファ米 食、 毛布 枚

(9) その他

災害対応等	内 容
土のうの搬送	件 袋
消 毒	消毒薬の配布 本、 消毒薬の散布 箇所
ごみの収集	収集件数 件、収集量 t、畳の収集 枚
くみ取り	収集件数 件
ボランティアの派遣	件

区・町内会被害状況調査票

区・町内会番号	— —	調査（電話をした）日時 年 月 日 時 分	
区・町内会名			
区・町内会長名		調査員（電話をした職員）氏名	
電 話 番 号	—		
＜調査内容＞ 1 現在の状況はどうですか。 2 今、何か対応することがありますか。 3 その他			
処理担当部・課		担当者	
処理欄			

報道機関発表用資料									
年 月 日 午前・午後 時 分発表 (第 報)									
1	気象情報	月	日	午前・午後	時	分	警報・注意報 発表		
2	降雨の状況		消防本部		総雨量	最大時間雨量 (時間)			
					mm	mm (: ~ :)			
3	被害の状況								
(1)	建物等被害								
①	建 物	全壊	棟、半壊	棟、一部破損	棟				
		床上浸水	棟、	床下浸水	棟				
②	農 地	稲の倒伏	アール、	土砂流入農地	アール				
③	た め 池	堤体決壊	箇所、	土砂流入	箇所				
④	用 水 路	堤体決壊	箇所、	土砂流入	箇所				
⑤	そ の 他								
	<公共施設>								
⑥	道 路								
⑦	河川堤防								
⑧	建物・施設等								
(2)	人的被害	死亡	人、行方不明	人、重傷	人、軽傷	人			
4	災害対応								
(1)	市職員の出勤状況				<出勤状況>				
	年	月	日	午前・午後	時	分			
	年	月	日	午前・午後	時	分			
	年	月	日	午前・午後	時	分			
(2)	高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保				<対象地区>		<世帯数>		
	年	月	日	午前・午後	時	分			
	高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保								
	年	月	日	午前・午後	時	分			
	高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保								
	年	月	日	午前・午後	時	分			
	高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保								
(3)	開設避難所				<開設日時>			<避難者数>	
	指定一般避難所								
	味美小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	白山小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	山王小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	勝川小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	牛山小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	春日井小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	松山小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	柏原小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	鷹来小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	西山小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		
	大手小学校	月	日	午前・午後	時	分	人		

指定一般避難所	月	日	<開設日時>		時	分	<避難者数>
東野小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
松原小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
北城小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
小野小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
上条小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
鳥居松小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
八幡小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
篠木小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
篠原小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
神領小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
丸田小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
南城中学校	月	日	午前	午後	時	分	人
不二小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
高座小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
玉川小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
出川小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
中部大学	月	日	午前	午後	時	分	人
坂下小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
神屋小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
西尾小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
藤山台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
東高森台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
高森台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
中央台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
石尾台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
押沢台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
岩成台西小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
岩成台小学校	月	日	午前	午後	時	分	人
グルッポふじとう	月	日	午前	午後	時	分	人
西藤山台運動交流ひろば	月	日	午前	午後	時	分	人
指定福祉避難所			<開設日時>		時	分	<避難者数>
味美ふれあいセンター	月	日	午前	午後	時	分	人
知多公民館	月	日	午前	午後	時	分	人
西部ふれあいセンター	月	日	午前	午後	時	分	人
鷹来公民館	月	日	午前	午後	時	分	人
グリーンパレス春日井	月	日	午前	午後	時	分	人
南部ふれあいセンター	月	日	午前	午後	時	分	人
第一希望の家	月	日	午前	午後	時	分	人
総合福祉センター	月	日	午前	午後	時	分	人
福祉作業所	月	日	午前	午後	時	分	人
高蔵寺ふれあいセンター	月	日	午前	午後	時	分	人
坂下公民館	月	日	午前	午後	時	分	人
青年の家	月	日	午前	午後	時	分	人
東部市民センター	月	日	午前	午後	時	分	人
保健センター	月	日	午前	午後	時	分	人
少年自然の家	月	日	午前	午後	時	分	人
第二希望の家	月	日	午前	午後	時	分	人
(4) 避難の状況							
(5) 要配慮者への対応							
(6) 自衛隊への派遣要請							
<地区・区域>		<要請内容等>					

(7)	春日井建設協会への出動要請			
	年	月	日	午前・午後 時 分
(8)	交通機関等の状況			
①	J R 東 海			
②	名鉄（電車）			
③	中日本高速道路			
④	中部電力			
⑤	東邦ガス			
⑥	N T T			
(9)	災害援助物資			
	クラッカー	食、	アルファ米	食、 毛布 枚
(10)	その他			
①	土のうの搬送	件	袋	
②	消 毒	消毒薬の配布	本、	消毒薬の散布 箇所
③	ごみの収集	収集件数	件、収集量	t、畳の収集 枚
④	くみ取り	収集件数	件	
⑤	ボランティアの派遣	件		

報道機関発表用資料									
年 月 日 午前・午後 時 分発表 (第 報)									
1 地震情報 月 日 午前・午後 時 分									
2 地震の概要									
震源地				震源の深さ			km		
地震の規模 (マグニチュード)									
市内の震度									
3 被害の状況									
(1) 建物等被害									
① 建物		全壊		棟、半壊		棟、一部破損		棟	
		床上浸水		棟、		床下浸水		棟	
② 火災									
③ 農地		稲の倒伏		アール、		土砂流入農地		アール	
④ ため池		堤体決壊		箇所、		土砂流入		箇所	
⑤ 用水路		堤体決壊		箇所、		土砂流入		箇所	
⑥ その他									
<公共施設>									
⑦ 道路									
⑧ 上水道									
⑨ 下水道									
⑩ 建物・施設等									
(2) 人的被害 死亡 人、行方不明 人、重傷 人、軽傷 人									
4 災害対応									
(1) 市職員の出勤状況 <出勤状況>									
年 月 日		午前・午後		時 分					
年 月 日		午前・午後		時 分					
年 月 日		午前・午後		時 分					
(2) 災害支援本部・避難所開設状況									
災害対策支援本部				指定避難所					
				<避難所名称>			<開設日時>		
味美ふれあいセンター				味美小学校					
<開設日時>				月 日			午前・午後 時 分		
月 日 午前・午後 時 分				山王小学校			月 日 午前・午後 時 分		
				白山小学校			月 日 午前・午後 時 分		
				勝川小学校			月 日 午前・午後 時 分		
西部ふれあいセンター				春日井小学校					
<開設日時>				月 日			午前・午後 時 分		
月 日 午前・午後 時 分				牛山小学校			月 日 午前・午後 時 分		
				松山小学校			月 日 午前・午後 時 分		
				柏原小学校			月 日 午前・午後 時 分		
鷹来公民館				鷹来小学校					
<開設日時>				月 日			午前・午後 時 分		
月 日 午前・午後 時 分				西山小学校			月 日 午前・午後 時 分		
				大手小学校			月 日 午前・午後 時 分		

災害対策支援本部	指定避難所 ＜避難所名称＞							＜開設日時＞	
グリーンパレス春日井 ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	東野小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	北城小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	松原小学校	月	日	午前・午後	時	分			
南部ふれあいセンター ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	小野小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	上条小学校	月	日	午前・午後	時	分			
総合福祉センター ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	神領小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	篠木小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	八幡小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	篠原小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	鳥居松小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	丸田小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	南城中学校	月	日	午前・午後	時	分			
高蔵寺ふれあいセンター ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	高座小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	不二小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	玉川小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	出川小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	中部大学	月	日	午前・午後	時	分			
坂下公民館 ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	坂下小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	西尾小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	神屋小学校	月	日	午前・午後	時	分			
東部市民センター ＜開設日時＞ 月 日 午前・午後 時 分	高森台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	中央台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	東高森台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	石尾台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	押沢台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	藤山台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	グループふじとう	月	日	午前・午後	時	分			
	西藤山台運動交流ひろば	月	日	午前・午後	時	分			
	岩成台小学校	月	日	午前・午後	時	分			
	岩成台西小学校	月	日	午前・午後	時	分			

(3) 避難の状況

(4) 自衛隊への派遣要請

＜地区・区域＞

＜要請内容等＞

(5) ライフライン・交通機関の状況

- ① 中部電力
- ② 東邦ガス
- ③ N T T
- ④ J R 東海
- ⑤ 名鉄（電車）
- ⑥ その他交通機関

(6) その他

- ① 土のうの搬送 袋
- ② 消 毒 消毒薬の配布 本、 消毒薬の散布 箇所
- ③ ごみの収集 収集件数 件、収集量 t、畳の収集 枚
- ④ くみ取り 収集件数 件
- ⑤ ボランティアの派遣 件

災害記録チェックリスト		
撮 影 項 目	カ メ ラ	ビ デ オ
災害箇所		
復旧状況		
避難所の状況（炊き出し等）		
応急物資の状況		
ボランティアの活動の状況		

【記入例】

[illegible]

指示を受けた班員が赤ペンで ①記入し、②所定の場所に貼ってから ③出発する。その者が ④帰着時間 の記入も忘れないこと。

防災行政無線交信記録簿

[illegible]

※ 支援本部において、原則 2 名体制 の同時記録。

【記入例】

No		月	日	時	分	発信元	受信先	場所	事項	備考
1										
1	1	30	9	45	ぎょうせい	ぎょうせい	39	篠木小	避難者多数	
									現地の状況を確認	
2		30		46	ぎょうせい	ぎょうせい	39	篠原公園	水道、トイレ、電気が使えない。	
									仮設トイレ搬送できないか。	
3		30		47	ぎょうせい	ぎょうせい	39	篠木公園	避難者多数	
									篠木小へ避難誘導せよ。	
4		30		50	ぎょうせい	ぎょうせい	39		安否確認	
									タナカジロウ(浅山町・78歳)	
5		30		51	ぎょうせい	ぎょうせい	39	鳥居松小	避難所として機能できるか	
									現地確認要請	
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			
						ぎょうせい	ぎょうせい			

※ 支援本部において、原則 2 名体制 の同時記録。

様式 1 (消防庁第 4 号様式 (その 1))

(災害概況即報)

消防庁受信者氏名
災害名 (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所					発生日時	月 日 時 分				
被害の状況	人的被害	死者	人	重傷	人	住家被害	全壊	棟	床上浸水	棟	
		うち 災害関連死者	人				半壊	棟	床下浸水	棟	
		不明	人	軽傷	人		一部破損	棟	未分類	棟	
		119番通報の件数									
応急対策の状況	災害対策本部等の 設置状況		(都道府県)			(市町村)					
	消防機関等の 活動状況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)								
	自衛隊派遣 要請の状況										
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策										

- (注) 第 1 報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)
- (注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

(避難指示等の発令状況)

都道府県名 ()

[illegible]

※ 対象世帯数等を確認中の場合は、空欄にせず「確認中」と記載すること。

災害発生状況等（速報・確定報告）

(注) 速報の場合は53から64までの項目については報告する必要はない。

人的被害

(第 報)

報告の時刻	日	時	分現在	受信時刻	時	分
発信機関				受信機関		
発信者名				受信者名		
内 容						
発 生	日	時	日 時 分			
	場	所				
	原 因					
人 的 被 害 の 状 況	被害程度	1. 死亡 2. 行方不明 3. 重傷 4. 軽傷				
	氏名等	(氏名) (生年月日) (性別 男 ・ 女 ・ 不明)				
	住 所					
	収容先					
	その他参考事項（応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等）					

避難状況・救護所開設状況 (第 報)

報告の時点			日時分現在		受信時刻		時 分				
発信機関					受信機関						
発信者名					受信者名						
内 容											
避難状況	避難先	地区名	緊急安全確保、避難指示の種別及び日時	避難指示世帯数	避難指示人数	避難実世帯数	避難実人数	屋内屋外の別	今後の見通し	最大世帯数	最大人数
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)	世帯	人	世帯	人	屋内 屋外		世帯	人
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急) (指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
救護所開設状況	救護所名	設置場所	患者数		実 施 機 関		収容人数の最大値				
			受入	搬送			重 傷		軽 傷		

※最大世帯数及び最大人数については、避難先毎の最大数を記入すること。

(第 報)

71